

なぜ緊急事態措置は想定以上となったのか

補遺 (2024 年 4 月 13 日)

岩本 康志

目次

なぜ緊急事態措置は想定以上となったのか.....	1
補遺 (2024 年 4 月 13 日)	1
1. はじめに	1
2. 「接触 8 割削減」の代替案の 3 つの新しい説明	2
2.1 「7 割なら 9 週間かかる」(緊急事態宣言発出前)	2
2.2 「7 割なら 1 か月半かかる」(4 月 9 日)	2
2.3 「7 割なら 9 週間かかる」(4 月 9 日)	3
2.4 まとめ	3
3. 4 月 22 日資料グラフの原型	4
参考文献	5

1. はじめに

岩本(2024)の公開後に、kyo_twit 氏¹が「接触 8 割削減」とその代替案の説明を収集した資料²をご教示いただいた。この補遺では、そのなかで拙稿が把握できていなかった説明を検討する。

なお、日付はいずれも 2020 年を指す。

¹ https://twitter.com/kyo_twit

² 「令和 2 年当初の 8 割接触削減に関する日数の整理」

<https://drive.google.com/file/d/1lNMqYvhSDKR0NTVQbTkd4ZPIPsKpaWOv/view>

「8 割の表記揺れの推移」 https://docs.google.com/spreadsheets/d/1sgiQhzL-oEKhayW_cU4pL8tz4uYDhaTFUlw8vs0v8dI/edit?usp=sharing

2. 「接触 8 割削減」の代替案の 3 つの新しい説明

2.1 「7 割なら 9 週間かかる」(緊急事態宣言発出前)

8 月 8 日の東京新聞記事³に、「4 月に発令された 7 都府県への緊急事態宣言に先立ち、厚生労働省のクラスター（感染者集団）対策班で感染予測を手掛ける北海道大教授の西浦博（42）は「人の接触を 8 割減らせば感染は 4 週間で落ち着くが、7 割だと 9 週間かかる」と試算。専門家会議も「8 割減」で一致した。」との記述がある。4 月 7 日以前に西浦教授が「7 割なら 9 週間かかる」と発言したことになる。しかし、緊急事態宣言に先立ち開催された専門家会議は 4 月 1 日であり、この会議では接触削減割合は議論されておらず、事実誤認が含まれている。かなり時期が経過してからの記事であり、西浦教授がどこで発言したかも記されておらず、不確かな内容とみなし、資料としての採用を保留する。

2.2 「7 割なら 1 か月半かかる」(4 月 9 日)

4 月 9 日に公開された「東京動画」(東京都公式動画チャンネル)の記録⁴では、西浦教授が「8 割ぐらい接触が削減できると、感染の数が概ね 2 週間でだいたい減るのですが、7 割だとそれから 1 ヶ月以上かかってしまいますので、そこにさらに観察のタイムラグがかかりますから、8 割だったら 1 ヶ月でだいたい物事が終わるのに対して、7 割だと、もう 2 ヶ月程度かかってしまうということで、大きく異なる結果になってしまいます。」と発言したとされる。

感染日での数値は、8 割の 2 週間に 1 か月以上を足すことで、「7 割なら 1 か月半かかる」としておくが、岩本(2023)で 4 月 11 日資料としたグラフとは整合性がとれなくなる。かりに「それから」ではなく「それが 1 ヶ月以上かかってしまいます」であれば、グラフの「34 日」と符合するので、記録の間違いかもしれない。残念ながら動画⁵が現在、非公開となっており、確認できない。

記録のなかで東京都の新規感染者が 181 人となったことが語られており、4 月 9 日の報告数⁶と一致することから、4 月 9 日収録と推定する。

³ 「専門家を押しつけ緊急事態宣言を解除 直前に知った「前倒し」」東京新聞
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/47683>

⁴ 現在は動画が非公開となっているが、記事はインターネットアーカイブでアクセスできる。
<https://web.archive.org/web/20200410155042/https://tokyodouga.jp/duidt4gcdlo.html>

⁵ <https://youtu.be/dUIdT4gcDLo>

⁶ 「東京都 新たに 181 人感染確認 1 日で最多 新型コロナウイルス」NHK ニュース
<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200409/k10012377701000.html>

2.3 「7割なら9週間かかる」(4月9日)

尾身氏は、4月13日に放送されたテレビ番組「news zero」で、「7割だと(感染者の)減り方がやや緩やかになる。緊急事態宣言の1か月では終わらなくて、9週間、2か月ちょっとかかっちゃう。」と発言している⁷。「7割なら9週間かかる」となり、4月7日の諮問委員会での自身の発言とは異なったものとなり、押谷教授の発言と合致する。

動画の収録日は示されていないが、4月24日に放送された動画⁸がまったく同じレイアウトと服装で「4月9日収録」とされているので、4月13日放送分も4月9日収録と推定する。

2.4 まとめ

以上3つの新しい説明のうち、最初の内容の信憑性に懸念があるので保留し、発言が確かな2つを拙稿での表3に追加すると以下の表S1になる。今回、追加された接触7割削減の説明のどちらもグラフには対応しない。新たな資料を加えると、4月7日から9日の間の専門家がおこなった接触7割削減の説明は、以下のようにまとめられる。

- (1) 複数の異なる説明がされていた
- (2) グラフにはない説明がされていた
- (3) グラフは誤っているが、説明が修正しているわけではない

表 S1 「接触8割削減」の代替案の説明

	発言日	発言者	削減割合	目標達成までの期間
1	4月7日	押谷	7割	9週間
2	4月7日	尾身	7割	90日
	4月9日	西浦	7割	1か月半
	4月9日	尾身	7割	9週間
3	4月10日	西浦	65%	90日
4	4月22日	専門家会議・案	70%	70日以上
5	4月22日	専門家会議・決定稿	65%	90日以上
6	4月29日	安倍	65%	90日以上
7	2022年	西村	65%	70日以上

⁷ 「大切な人を守るため「自ら感染防止対策を」 山中伸弥教授と尾身茂氏が緊急対談 | 新型コロナウイルスと私たちの暮らし・日テレ特設サイト」日本テレビ

https://www.ntv.co.jp/news_covid19/static/zero_0413OA.html

⁸ 「尾身氏「歴史的なチャレンジを我々はやっている」 山中教授・尾身茂氏が語る、私たちが今できること | 新型コロナウイルスと私たちの暮らし・日テレ特設サイト」日本テレビ https://www.ntv.co.jp/news_covid19/static/2020427_f01.html

グラフにない説明がされているというのは異様であり、目標が筆者の想定するものとは異なる目標が語られている可能性もある。筆者は 4 月 22 日資料に基づき、1 日当たり新規感染者が 100 人まで低下する期間と考えているが、それぞれの発言は短い言葉で表現されていて、何が目標であるのかが曖昧である。

政策の選択に数理モデルを利用する利点は、政策で達成する目標を明確すること、選択肢がどのように目標を達成するのかを明確にすることを通して、政策担当者と利害関係者の意思決定を支援することにある。4 月 7 日から 9 日の間の専門家の発言には、数理モデルを利用する利点は見られない。

3. 4 月 22 日資料グラフの原型

kyo_twit 氏によれば、4 月 22 日の専門家会議資料にある 8 割削減と 6.5 割削減を比較するグラフは、西浦教授が 4 月 15 日におこなった記者会見で使用されたことが報道写真で確認できる⁹。4 月 22 日資料と違って、縦軸（新規感染者数と表示されているが本当は感染者数）の範囲は 0~1,200 人である。この縦軸の範囲は、4 月 11 日資料と同じである。4 月 11 日資料は、8 割削減、7 割削減、段階的削減（4 割、6 割、8 割）の 3 つの選択肢を比較したものである。

また、上述の 4 月 9 日の東京動画の記録には、西浦教授が「一方で、ここで例に出しているのは 65% の削減ですが、甘い削減だと、なかなかその感染者数の減少が起これないということで、長期化する恐れがあるということですね。」とある。kyo_twit 氏は、この発言に対応するグラフを、東京都への情報公開請求で入手したとのことである。ただし X の匿名アカウントでの発信であり、その真正性が十分ではない。現時点では、筆者は慎重を期して、このグラフの採用は保留する。

⁹ 「新型コロナ、4 2 万人死亡も 対策ない場合の試算公表—重篤 8 5 万人・厚労省班」時事ドットコム、2020 年 4 月 15 日（インターネットアーカイブ）

<https://web.archive.org/web/20200419050205/https://www.jiji.com/jc/article?k=2020041500281>

千葉雄登「波紋呼んだ「対策ゼロなら 40 万人死亡」のデータ いま必要なコミュニケーションは単なる「情報提供」ではない」Buzzfeed、2020 年 4 月 24 日

<https://www.buzzfeed.com/jp/yutochiba/risk-communication-cluster-japan>

参考文献

- 岩本康志(2023)「『接触 8 割削減』の科学的根拠の再現」 CIRJE Discussion Paper CIRJE-J-307。 <https://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/dp/2023/2023cj307.pdf>
- 岩本康志(2024)「なぜ緊急事態措置は想定以上となったのか：数理モデル分析の影響について」 CIRJE Discussion Paper CIRJE-J-309。 <https://www.cirje.e.u-tokyo.ac.jp/research/dp/2024/2024cj309.pdf>